



すべての議案を全員一致で可決した第54回通常評議員会  
= 5月19日、M&Dホール

## 第54回通常評議員会

# 憲法活かす社会へ決議

## 17年度決算・18年度予算を可決

協会は第54回通常評議員会を5月19日、M&Dホールで開き、2017年度決算・18年度予算を全員一致で可決した。政府が進める社会保障費削減と憲法9条改定に反対し、憲法25条と9条を活かした社会の実現を訴える決議を採択した。平川光彦氏が議長、張村善紀・南端理伸両氏が副議長を務めた。

小澤力理事長は会務報告として、17年度の協会活動を報告した。安倍政権による社会保障費削減政策に対し、会員をはじめ医療団体や市民団体と共に運動を展開し、診療報酬の大幅削減や受診時定額負担の導入などを阻止してきたことを報告。その上で、歯科保険医療を充実させ、患者の受診抑制の社会的要因を取り除くため、「ウイング(翼)」を広げ、多くの方と共に運動していくと述べた。

また、若手歯科医師と女性歯科医師の活躍が今後の協会運動の要になるとし、「会員からの一言」を大切に、協会を発展させていくとの決意を表明した。

三井泰正副理事長は、1号議案・17年度決算案を提案した。歳入では共済事業や社保指導講習会収入で超過達成したこと、歳出では国会中央行動や事務局人件費が予算を下回ったことなどの特徴を説明した。

2号議案・収支差額処理案では、協会設立の50周年記念行事積立金や運動対策積立金などに計上したことを説明。3号議案・18年度予算案では、前年を上回る会費収入を計上すると共に、運動費

必要です。採択時に120カ国以上が賛成している。これら多くの国で、署名・批准すれば発効するはずですが、各国が批准を政治の優先課題に位置付けないと進みません。2018年5月までに58カ国が署名し、10カ国が批准しました。条約に反対する核保有国が圧力を強め、賛成国による署名・批准を遅らせています。それでも着実に増えています。

## きへ 世界へ 核世

今後の条約のプロセスはどうなりますかー



早期署名・批准を促進するにはー

核兵器の危険性と非人道性に対する世論を高めることが重要です。広島・長崎の被爆者が世界各国に早期署名・批准を訴

いるので、違法な活動や倫理に反することに對して投資をしない「社会的責任投資」という考え方を背景に、私たちは、企業や銀行も監視する必要があります。銀行が核兵器



上：平野博文衆院議員(正面奥)  
下：辰巳孝太郎参院議員(左端)

## 国会行動 感染防止の減算撤回要望 大阪選出4議員と面談

診療報酬の引き上げ・患者負担増の反対・損税問題改善を求めて、協会の役員・事務局は5月24日、大阪選出の衆参両院議員に要望・陳情したほか、保団連の国会内集会に参加した。

陳情では、初再診料をはじめ基礎的技術料の大幅引き上げ、院内感染防止対策に係る施設基準の未届の歯科医療機関への減算制度の撤回・廃止などを中心に要望。この間取り組んだ「医療従事者署名」に寄せられた大阪歯科協会会員の声を届け

は「医療は国民生活を守る大事なものだ。全国どこでも同じ医療を受けられる皆保険制度を守っていかねばならない」と語った。

辰巳氏は森友・加計問題について、「改ざん、隠ぺい、ねつ造など安倍政権の民主主義破壊の暴走は許されない。退陣させよう」と語った。

大門氏は損税問題について、「輸出企業の場合、輸出品に転嫁できない消費税分が戻し税として還付される。医療機関が払う消費税も還付すべきだ」という要求は、当然だと述べた。

山下氏は「今の日本はあまりに大企業が優遇されている。『働き方改革』はその象徴だ。税金の使い方を考えれば暮らしを応援できる」と強調した。

## 完全廃棄以外に道はない

### 核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)・川崎哲さんにインタビュー

えることや、被爆者団体や日本のNGOが「ヒバクシャ署名」を進めることとは有効です。

条約は核兵器の製造を援助することを禁止して

日本は唯一の戦争被爆国でありながら、安倍首相は核兵器による米国の抑止力を維持していくことに固執しています。日本政府は条約に参加して

こそ、道義的にも北朝鮮に核兵器の放棄を迫ることができません。

今世界には1万5000発の核兵器が存在しています。ピーク時の6万発から数こそ減ったものの、使用される危険はむしろ高まっています。核戦争による人類滅亡を時計の針で示す「終末時計」の針は80年代半ばは3分前でしたが、核の拡散などの脅威によって今2分前を指しています。

冷戦時期よりも世界の終末に近づいているといえます。

核保有国が核を持ち続けるべきです。

## ヒバクシャ国際署名にご協力を

協会は、核兵器禁止条約の早期発効と核兵器廃絶をめざし、「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでいます。署名用紙は5月25日付に同封。ぜひご協力ください。

## 協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467  
共 済 部 06-6568-7438

## 歯界

日大アメフト部の事件が話題となっている。マイ

ナー競技のアメリカンフットボールが昼のワイドショー、一般ニュースでこまめに取り上げられるのはなかったことだ。ケガをさせてしまった宮川選手のような理不尽な経験を誰しも一度はしたことがある。だからこそ、選手に同情し、内田前監督の言動に反感を覚えるのではないかな。

内田氏は大学ではやりたい放題ふるまってきたと聞く。それが間違いだらけの対応を招き、被害者の両親が告訴する結果となった。真実を知るには正しい判断だろう。真実は地道な調査で見つからないからだ。

最近の記事で、内田氏の上役の理事長も学校関係者としての資質に欠けることや、暴力団との関係のことまで報道されている。

権勢を誇っていても、いつかは実態が世間に暴かれてしまうものだ。その時初めて井の中の蛙、裸の王様であったことに気付くのだろうか。今後の展開に注意したい。(T)